

2 学期終業式 校長式辞

8 月 29 日にスタートした 2 学期が本日で終了します。この長い 2 学期は皆さんにとってどんな学期でしたか。先日行ったばかりの、50 周年記念集会や特技発表会、縦割りクラスを生かした合唱練習、3 年生と小学校 5、6 年生が母校で行った交流会など、昨年には見られなかった、生徒が主体となって生徒の手で企画、運営する行事がたくさん見られた、そんな 2 学期だったと思います。また、「誰もが幸せを感じるウエルビーイングな学校づくり」という点では、「なんとかなる」「ありのまま」のキーワードの下、校内や地域において、自分らしさを発揮し、様々なことにチャレンジしようとする生徒がとても多かったと感じています。

学年別に見ていくと、1 年生は、中学校生活にも慣れ、学習や行事、部活動に伸び伸びと取り組んでいました。生徒会役員を選出するための学年立会演説会や、総合的な活動の時間で取り組んだ「オリジナル防災アイテムの発表会」を見させてもらいましたが、発表者が大勢の人前で、伝えたい内容を堂々とプレゼンテーションすることができており、とても感心しました。聞いている人たちの態度もとても協力的でした。これからもこのような取組を継続し、さらにレベルアップしていけるとよいと思います。これからが楽しみです。

2 年生は、生徒会や委員会活動・部活動等、学校生活全般に渡り 3 年生からたくさんのことをバトンタッチされました。委員会が改編され、新たな組織でのスタートとなった生徒会や委員会の活動でも、生徒主体で、より良い南中を創り上げていこうという気持ちや行動が随所に見られました。また、様々な部活動の新人戦等での活躍は、今の 2 年生が持っている良さやパワーが存分に発揮された結果であったと思います。3 学期もこの調子で南中をぐいぐいと引っ張って行って下さい。

3 年生は、部活動も終了し、進路決定に向け、自分と向き合い、自分を信じて学習に力を入れた学期だったと思います。日々の授業にまじめに真剣に取り組む姿、対話活動やグループ活動に、男女分け隔てなく協力的に取り組む姿は 3 年生の長所、強みです。また、「かたりあ」で行った中学校生活最後の合唱コンクールでは、どのクラスも最上級生にふさわしい、迫力ある、感情のこもった歌声を響かせ、聞く者を感動させてくれました。練習も含めたその立派な姿は、下級生に最上級生のあるべき姿を示してくれました。希望する進路の実現は簡単ではありませんが、苦労が大きければ大きいほど、達成したときの喜びは大きいものです。この冬休みもたゆまぬ努力を継続して下さい。

さて、話は変わりますが、先日、毎年恒例になっている今年の漢字 1 文字が発表されました。今年は「金」という漢字が選ばれました。今年の漢字は「金」でしたが、今年一番印象に残っている人物はといたら皆さんは誰を思い浮かべますか？私は迷わず大谷翔平選手と答えます。大谷選手は今年「50-50」50

ホームラン、50 盗塁というこれまで誰も成し遂げることができなかった偉大な記録を残し、チームを世界一に導きました。そんな大谷選手にまつわる逸話はたくさんあるのですが、その中でも有名なものは「何より睡眠を大切にしているアスリートである」ということです。彼は日頃から「睡眠時間は基本的に10時間。最低でも8時間はとる」、そして「睡眠は疲れをとることだけでなく、翌日、最高のパフォーマンスを発揮するために最も重要なもの」と公言しています。今年の大谷選手の活躍を見れば、この言葉には納得させられます。また、大谷選手だけでなく、プロサッカー選手でスペインのレアル・ソシエダで活躍する久保建英（たけふさ）選手、そして将棋の藤井聡太八冠も「試合や対局に万全な状態で臨むためには睡眠が重要」という言葉を残しています。南中生の皆さんもこの冬休み、そして3学期と、夜はスマホのブルーライトから離れ、睡眠を大切に生活を送ってみましょう。きっと質の高い睡眠が取れ、翌日のパフォーマンスの向上に繋がっていくはずです。

最後になりますが、生徒の皆さん今年1年、ウェルビーイングを意識して行動してくれて本当にありがとうございました。少し早いですが、メリークリスマス、そして、よいお年をお迎えください。